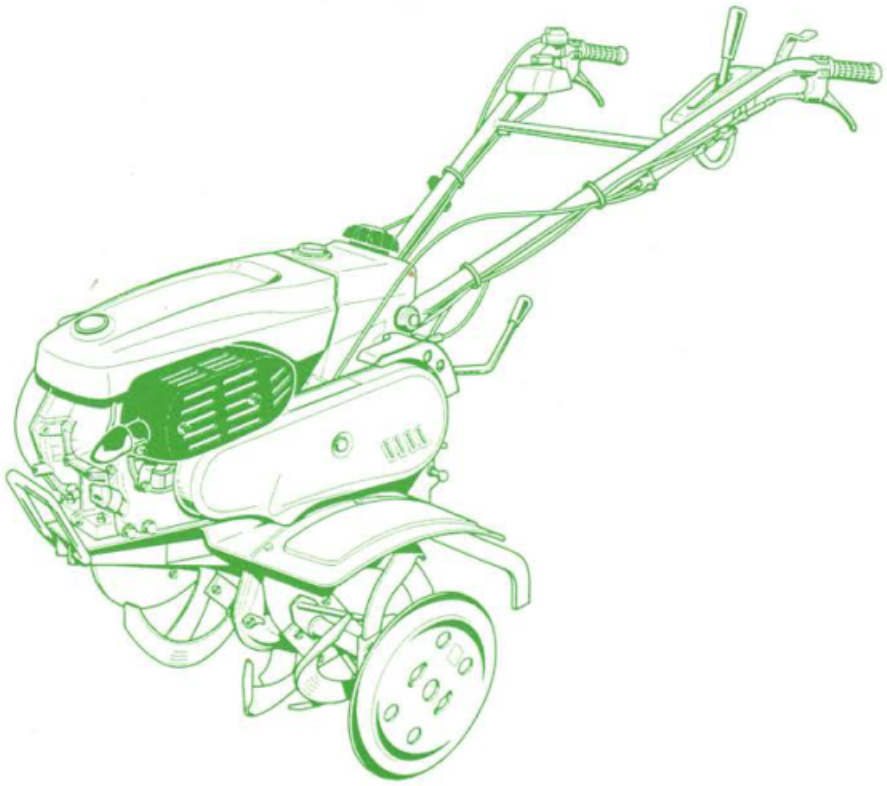
管理機

取扱説明書

MM408A



ご使用前に必ずお読みください
身近なところに大切に保管してください

操作装置のシンボルマーク

運転操作及び保守管理のために，操作装置のシンボルマークが使用されています。シンボルマークの意味は下記のとおりですのでよく理解して戴き誤操作のないようご注意ください。



エンジン停止



チョークレバー



ガソリン燃料

専門用語の説明

ON　燃料コック［開］

OFF　燃料コック［閉］

本製品の使用目的について

本製品は，農業用機械ですので農作業以外では使用しないでください。
使用目的以外の作業，また夜間作業や改造はしないでください。
使用目的以外の作業や改造をした場合は，保証の対象になりませんのでご注意ください。（詳細は保証書をご覧ください。）

仕様について

この取扱説明書では，仕様の異なる製品を下記のように表示していますので，お買上げの製品の仕様をお確かめのうえ，お間違いのないようお願いいたします。
なお，機種及び仕様区分によっては付いていない装置の説明もあります。

- 操向クラッチレバー付……S仕様
- 草削りロータ仕様……J仕様
- ロータリ装着可能仕様……R仕様
- 握り式クラッチレバー仕様……K仕様

はじめに

このたびは管理機をお買上げいただきありがとうございました。
この取扱説明書は本製品の正しい取扱い方法，簡単な点検及び手入れについて説明しています。ご使用前によくお読みいただいて十分理解され，お買上げの製品がすぐれた性能を発揮し，かつ安全で快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。
また，お読みになったあとも製品に近接して保存し，わからないことがあったときには取出してお読みください。なお，品質・性能向上あるいは安全上，使用部品の変更を行なうことがあります。その際には，お買上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので，あらかじめご了承ください。

⚠安全第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた⚠の表示があるラベルは，人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。
なお，⚠表示ラベルが汚損したり，はがれた場合はお買上げの販売店に注文し，必ず所定の位置に貼ってください。

注意表示について

本取扱説明書では，特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について，次のように表示しています。

⚠ 危険	注意事項を守らないと，死亡又は重傷を負うことになるものを示します。
⚠ 警告	注意事項を守らないと，死亡又は重傷を負う危険性があるものを示します。
⚠ 注意	注意事項を守らないと，ケガを負うおそれのあるものを示します。
重要	注意事項を守らないと，機械の損傷や故障のおそれのあるものを示します。
補足	その他，使用上役立つ補足説明を示します。

目　次

⚠安全に作業するために

運転する前に……1
始動するとき……3
移動，作業するとき……3
作業が終わったとき……9
点検，整備をするとき……9
表示ラベルと貼付け位置……12
表示ラベルの手入れ……12

サービスと保証について

各部の名称と装置の取扱い

作業前の点検

調子よく作業するために……4
　燃料……4
　エンジンオイル……4
　ミッションオイル……5
　エアクリーナ……5
　各ケーブル……5
　その他……5

運転のしかた

新車時の扱いかた……6
　ならし運転（最初の 10 時間まで）……6
エンジンの始動と停止のしかた……6
　始動のしかた……6
　停止のしかた……7
発進のしかた……8
各部の調節……8
　エアクリーナの調節……8
　ハンドル高さの調節……8
　ユニバーサルヒッチ及び抵抗棒の
　　組付けかた……9
移動輪での運転のしかた……9
操向クラッチレバー［S 仕様］……9
　旋回のしかた……9
ロータ・移動輪の取付けかた……10
　ナタ爪ロータの取付けかた……10
　移動輪の取付けかた……10
　車輪の取付けかた・車輪幅調節のしかた
　　［R 仕様］……10
上手な作業のしかた……11
　耕うん作業手順［R 仕様］……11
　旋回手順［S 仕様］……11
ロータリ取付け時の注意……11
　ロータリ後進ケンセイ装置の点検
　　［R 仕様］……11

管理機の簡単な手入れと処置

廃棄物の処理について……12
日常の手入れ……12
　エンジンオイルの交換……12
　ミッションオイルの交換……12
　エアクリーナエレメントの清掃と
　　オイル交換……13
　燃料チューブの交換……13
　燃料フィルタの清掃……14
　点火プラグの調節・清掃・交換……14
　主クラッチケーブルの調節……15
　操向クラッチケーブルの調節［S 仕様］……16
使用後の手入れ……16
　エンジン始動不良を防ぐために……16
　長期格納時の手入れ……17
　燃料の抜取り……17
洗車時の注意……17
ロータリ後進ケンセイ装置の点検・調節
［R 仕様］……18
　点検……18
　調節要領……18

管理機を運搬するとき

自動車（トラック）への積込み，運搬……19

付表

主要諸元……20
標準付属部品……20
主な消耗部品一覧表……21

トラブルと処置

潤滑油について

⚠ 安全に作業するために　必ず読んでください

本機をご使用になる前に，必ずこの『取扱説明書』をよく読み理解した上で，安全な作業をしてください。安全に作業をしていただくため，ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが，これ以外にも，本文の中で⚠危険・⚠警告・⚠注意・重要・補足としてそのつど取上げています。

運転する前に

■ 運転前に

- 機械を動かす前に，取扱説明書と機械に貼ってある⚠表示ラベルをよく読み，理解した上で運転してください。
- 機械の運転操作，特に主クラッチ**[切]**はすばやくできるよう，よく練習し，じゅうぶんに慣れてから作業してください。

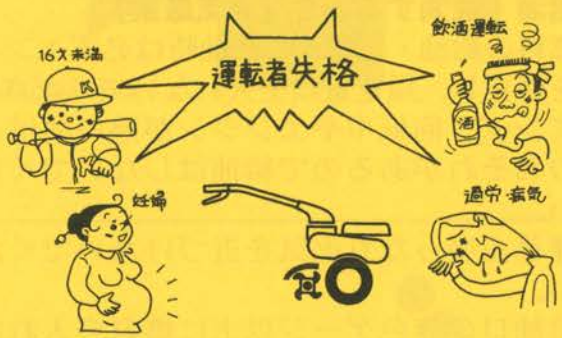


1AGAAAPAP062A

■ 使用する人は

次の項目に該当する場合は，機械を使用しないでください。

- 本書及びラベルの内容が理解できない人
- 視力不足などのため表示内容が読めない人
- 飲酒時や体調が悪いとき，また妊娠中の人
- 16 才未満の人
- ハンドルを操縦する体力に自信のない方

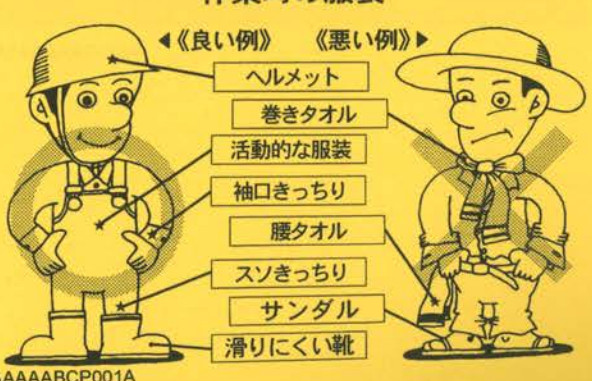


1AFACAAAP024A

■ 使用する人の服装は

- 回転部分や操縦装置に引っ掛かり事故の原因になる，だぶついた服，腰タオルなどはやめてください。
- ヘルメット，安全靴，保護メガネや手袋などを必要により着用してください。

作業時の服装



1AAAAABCP001A

■ 周囲への注意

- 子供，ペットを近づけないでください。
- 人を近くに寄せないでください。
- 共同作業者がいるときは，互いに注意してください。

■ 他人に貸すときは

- 事前に運転のしかたを教え，**[取扱説明書]** を必ず読んでもらってください。
- 本書及びラベルの内容が理解できない人や子供には絶対運転させないでください。



1AHACACAP001A

■ 給油・注油するとき［火気厳禁］

- 燃料の給油・各部への注油時は必ずエンジンを停止し，規定量以上入れないでください。
- エンジン回転中やエンジンが熱い間は火災のおそれがあるので給油はしないでください。
- 煙草を吸ったり火気を近づけないでください。
- 給油口の赤色ゲージ以上に燃料を入れないでください。
- 燃料補給後，給油キャップはもれないようしっかり締めてください。
- こぼれた燃料はふき取ってください。



1AFACAAAP025A

始動するとき

■ エンジンを回すとき

- 必ず本機の主クラッチレバーを**[切]**り，主変速レバーを**[中立]**にして，付近に人（特に子供）を近づけないでください。
- リコイルスタータを引張る方向に人がいないか，突起物・障害物がないか確かめてから始動してください。傷害事故のおそれがあります。



1AFACAAAP026A

■ 排気ガスに注意

- 換気が不じゅうぶんな所では，暖機運転や作業はしないでください。
  排気ガスにより一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- ハウス内では排気ガスが充満しないように，じゅうぶんに換気を行なってください。
  排気ガスによる中毒を起こし，死亡事故にいたるおそれがあります。



1AFACAAAP027A

移動，作業するとき

■ 発進するとき

- 速い速度での走行はじゅうぶん注意してください。
- 車速の最低速で主クラッチレバーの**[入]**はゆっくり，**[切]**はすばやくの操作を習熟した上で使用してください。
- 小走りになるようなスピードを出したり，急発進，急旋回はしないでください。転倒などのおそれがあります。
- 後進の発進時は，ハンドルが持上がりやすいので，エンジンの回転を下げ，しっかりハンドルを押えながらゆっくり主クラッチを入れてください。



1AFACAAAP028A

■ ロータ装着時に後進するとき

- ハンドルが跳上がり回転する爪に巻込まれるおそれがあるので**【後進】**は，じゅうぶん注意してください。



1AFAEAAAP040A

■ 移動するとき

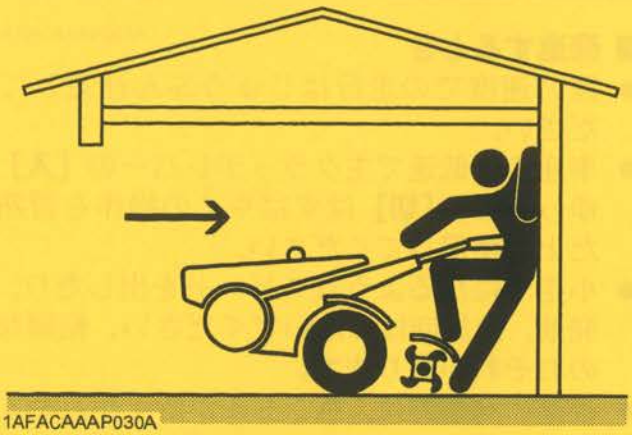
- 移動の際は，必ずロータリの回転を止めてください。



1AFACAAAP034A

■ ハウス，車庫などでの移動

- 後方の壁，支柱，天井など障害物にはさまれるおそれがあるのでエンジン回転を下げて後進してください。
- 屋根の低いハウス内や車の荷台では，エンジンを停止して手で引出してください。



1AFACAAAP030A

■ 坂道を移動するとき

- 坂道，ほ場の出入り，あぜの乗越えなどの途中で主クラッチを**[切]**ったり，主変速を**[中立]**にすると，機体が思わぬ方向に進み危険です。
- 変速操作は，機械が平坦な場所以外では行なわないでください。落下や転倒のおそれがあります。
- 坂道や凹凸，カーブの多い路上で高速運転すると，転倒したりして危険ですから必ず低速運転してください。
- 坂道で操向クラッチを操作すると，思わぬ方向に曲がり転倒のおそれがありますので，必ずハンドル操作で方向転換してください。

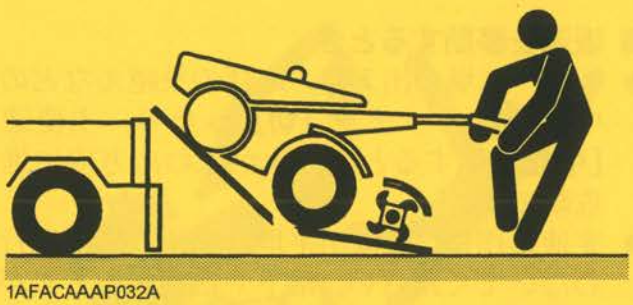


1AFACAAAP031A



1AFAEAAAP041B

■ 運搬・積降ろしするとき


1AFACAAAP032A

- 積込み・積降ろしは，平坦で交通の邪魔にならない安全な場所で行なってください。
- アユミ板はすべり止めのついた，機体重量に耐えるもので，トラックの荷台の高さ**［1］**に対しアユミ板の長さ**［4以上］**のものを使用し，確実に固定してください。
- ロータを装着しているときは，移動輪，または突起の小さい車輪と交換して行なってください。ロータのみでの，アユミ板の上り・下りは危険です。絶対にしないでください。
- 足元に注意し，車速は最低速で，上りは**［前進］**下りは**［後進］**で行ない，途中で主クラッチ・操向クラッチを切ったり，変速操作をしないでください。落下・転倒のおそれがあります。
- 車などで運搬するときは，必ず荷台に天井がない車を使用してください。
- 燃料コックレバーを必ず**［閉］**にし，給油キャップはもれないようしっかり締めてください。燃料もれが発生し，火災や爆発のおそれがあります。
- 機体の固定はフロントバンパー，リアヒッチを使ってロープ掛けを行ない，確実に床に固定してください。
  （ハンドルを使っての固定はしないでください。）


1AFACAAAP033A

■ 耕うん作業するとき



1AFACAAAP029A

- いつでも主クラッチが［切］れる姿勢で運転してください。車軸（ロータ）・爪軸（ロータリ）作業開始時や作業中，機体が思わぬ方向に飛出し転倒や人身事故のおそれがあります。
- 作業前に，ほ場の状態をよく確認して，石・材木・針金・空カン・空ビンなどを取除いてください。
- 作業前，作業後には機械の整備・点検を行なってください。特にエンジン本体，マフラ周辺，配線部にワラくずなどがたまっていると，火災の原因になります。
- 周辺の枯れ草やたい積ワラなどは作業前に取除くか移動させてください。機械のマフラが接触すると，発火するおそれがあります。
- ほ場の中や周囲にある支柱，樹木や段差などは，作業前に位置を確認し，後進時にはさまれたり，転倒・転落しないよう安全な距離を保って，近づかないよう作業してください。
- ハウスや小屋の中，果樹園など障害物がある場所では，周囲をよく確認しながら作業してください。特に後進，旋回するときは，エンジン回転を下げ，ハンドルをしっかり押えて行なってください。
- 長いワラ・草など作業に支障のあるものは，作業前に取除いてください。機体が思わぬ方向に飛出し，転倒などのおそれがあります。

■ 回転している爪に注意

- ハンドル部を持上げ旋回するとき，足元及び周囲にじゅうぶん注意してください。回転する爪に巻込まれるおそれがあります。



1AFACAAAP034A

■ ほ場が硬いとき

- 硬いほ場では車速を遅めにして，耕深も浅めで作業を行なってください。機体が飛出すおそれがあります。



1AFACAAAP028A

■ 機械から離れるとき

- エンジンは必ず停止させ，平たんで安定した場所に停車してください。移動・落下するおそれがあります。
  (やむなく傾斜地に止めるときは車止めをしてください)
- 周囲に草・ワラなど燃えやすいものがある場所に止めないでください。火災のおそれがあります。



1AFACAAAP031A

■ PTO 軸を使用するとき

＊ 回転物に巻込まれるおそれがあるので，まわりにカバーや囲いをしてください。
＊ 使用しないときはカバーを組付けてください。

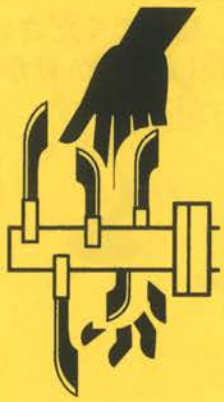


1AFAEAAAP031B

作業が終わったとき

■ 掃除をするとき

- 必ずエンジンを停止してください。車軸（ロータ）・爪軸（ロータリ）などに巻付いた草・ワラ・泥土などを取除くときは，巻込まれるおそれがあります。



1AFACAAAP036A

点検，整備をするとき

- 点検，整備，アタッチメントの脱着などは，機械が転倒しない平坦な所に機械を安定させて，エンジンを止め，高温部が冷めてから行なってください。



1AFACAAAP039A

■ カバー類は必ずつける

- ベルトカバー，PTO　軸カバーなどの防護カバーを取外すときは，必ずエンジンを停止してください。巻込まれるおそれがあります。
- 取外したカバー類は元通り組付けてください。



1AFACAAAP037A

■ 機械の改造禁止

- 機械を改造しないでください。改造すると機能に影響を及ぼすばかりか人身事故にもつながるおそれがあります。



1AFACAAAP040A

■ 1年ごとの定期点検を

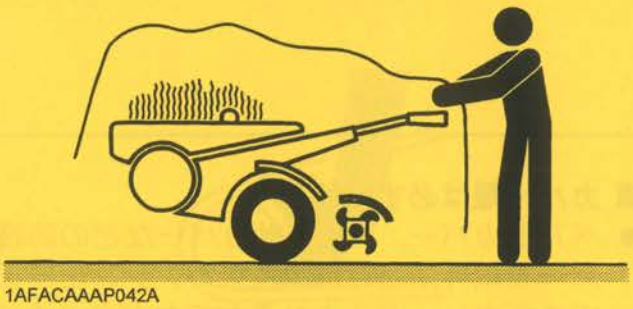
- 機械の整備不良による傷害事故などを未然に防止するため，1年ごとに定期点検・整備を受け，特に燃料パイプは2年ごとに交換して安全に作業できるようにしてください。



1AFACAAAP038A

■ 格納するとき

- 機体に保管用カバーやシートをかけるときは，高温部が冷めてから行なってください。
- 乾いた草・ワラなど可燃物のあるところでの保管はしないでください。
  火災のおそれがあります。



1AFACAAAP042A

■ 廃棄物の処理について

- 廃棄物をみだりに捨てたり，焼却しないでください。環境汚染につながり，法令により処罰されることがあります。
- 機械から廃液を抜く場合は，容器に受けてください。
- 地面へのたれ流しや河川，湖沼，海洋への投棄はしないでください。
- 廃油，ゴム類，その他の有害物を廃棄，又は焼却するときは，購入先，又は産業廃棄物処理業者などに相談して，所定の規則に従って処理してください。



1BJABAAAP0180

■ 夜間作業の禁止について

- 本機は夜間作業灯を装備していませんので，夜間作業はしないでください。思わぬ事故になるおそれがあります。

■ 作業機の着脱について

- 作業機の着脱は，平坦で安全な場所で行なってください。
- PTO 作業機の装着・取外し・調整・掃除又は修理をするときは，作業機が完全に止まるまで待ってください。



1AGAAAPAP079B

表示ラベルと貼付け位置

(1) 品番　LK161-4732-0



1AFAEADAP020A

(2) 品番　LK161-4716-0



1AFAEADAP019A

(4) 品番　61592-4812-0
[R仕様]

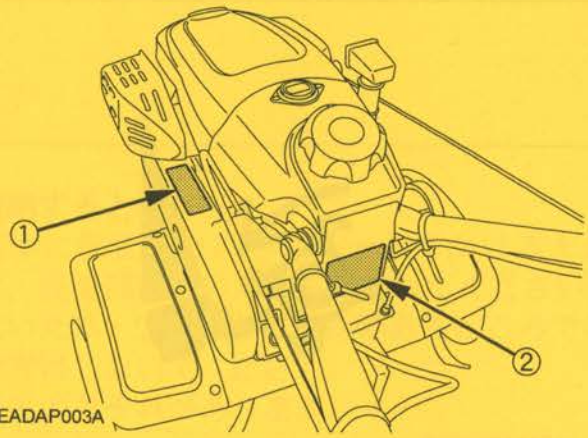


1AFAEADAP021A

(3) 品番　LK161-4731-0

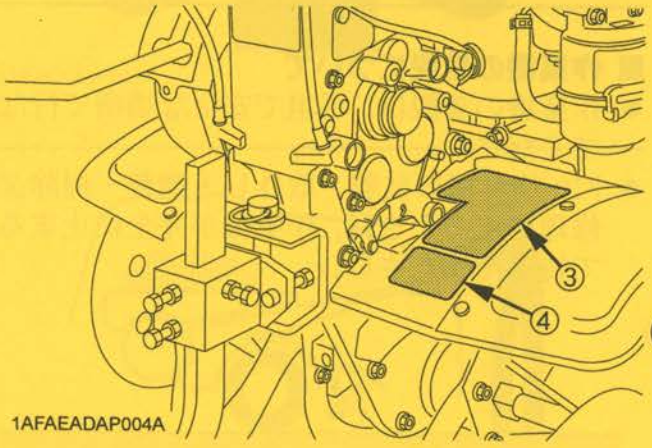


1AFAEADAP018A



1AFAEADAP003A

1AFAEADAP0330



1AFAEADAP004A

表示ラベルの手入れ

- ラベルは，いつもきれいにして傷つけないようにしてください。
  もしラベルが汚れている場合は，石鹸水で洗い，やわらかい布でふいてください。
- 高圧洗浄機で洗車すると，高圧水によりラベルが剥がれるおそれがあります。高圧水を直接ラベルにかけないでください。
- 破損や紛失したラベルは，製品購入先に注文し，新しいラベルに貼替えてください。
- 新しいラベルを貼る場合は，貼付け面の汚れを完全にふき取り，乾いた後，元の位置に貼ってください。
- ラベルが貼付けされている部品を新部品と交換するときは，ラベルも同時に交換してください。

地球環境を守るために

このたび（社）日本陸用内燃機関協会（陸内協）が環境保全のために定めた排出ガス自主規制の適合エンジンを搭載しました。

この自主規制は、小型汎用火花点火エンジンの排出ガス中の炭化水素（HC）、窒素酸化物（NOx）、及び一酸化炭素（CO）を低減するためのもので、識別のため陸内協で決定した右図の適合ラベルをエンジンファンカバー等に貼付けています。



使用期間中は、次の事項を守ってください

1．自主規制適合ラベルは剥がさないでください。

2．エンジンの点検整備は、取扱説明書にしたがって実施してください。
気化器の調整、部品交換が必要な場合には、「お買いあげ先」にご相談ください。

本エンジンは、排出ガスの量が規定値内になるように管理出荷していますが、運転中の吸入空気と燃料の混合比に影響する気化器の調整、整備不良、不適切な部品交換がされた場合、排出ガス量は規定値を外れることがありますので注意願います。

サービスと保証について

この製品には，保証書が添付してありますので，ご使用前によくご覧ください。

■ ご相談窓口

ご使用中の故障やご不審な点及びサービスについてのご用命は，お買上げいただいた購入先にそれぞれ**［ご相談窓口］**を設けておりますのでお気軽にご相談ください。

その際　(1) 型式名と製造番号
　　(2) エンジン番号
をあわせてご連絡ください。

なお，部品ご注文の際は，購入先に純正部品表を準備しておりますので，そちらでご相談ください。

警　告

＊ 機械の改造は危険ですので，改造しないでください。
改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は，メーカ保証の対象外になるのでご注意ください。

◆ 安全鑑定番号

安全鑑定の農機型式名及び番号が必要な場合は，下記の型式名及び番号をご使用ください。

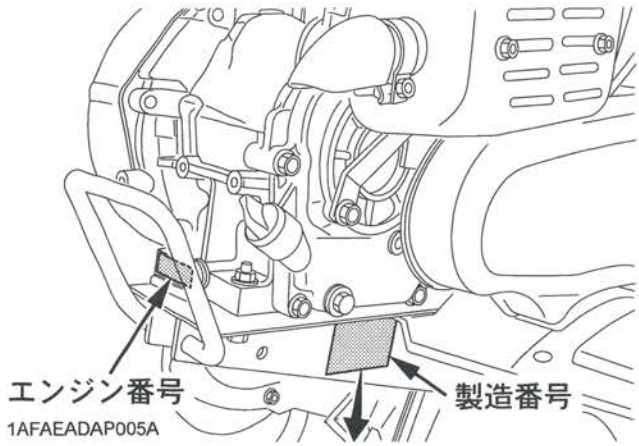
販売型式名	農機型式名	安全鑑定番号
MM408A MM408AS	TA400	33015/10
MM408AJ MM408ASJ	TA400-L	33016/10
MM408ASR	TA400-R	33018/10

■ 補修用部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期限）は製造打切り後 9 年といたします。

ただし，供給年限内であっても特殊部品につきましては，納期などについてご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は原則的に上記の供給年限で終了致しますが，供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には，納期及び価格についてご相談させていただきます。



農業機械の種類	農用トラクター（歩行型）
型　式　名	
区　　分	
発　売　元	
製 造 会 社	
製 造 番 号	

注　意

＊ トレーラ走行はできません。
小型特殊自動車の認定を受けておりません。
一般公道を走行すると，道路運送車両法に違反します。
一般公道を移動するときは，自動車（トラック）に積んで運搬してください。

各部の名称と装置の取扱い

主クラッチレバー

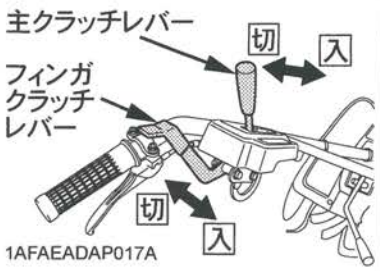
注 意

＊傾斜地や後進するときなどは，ハンドルが持上がり危険な場合がありますので，主クラッチレバーをゆっくり操作してください。
＊狭い場所や後進の運転についてはエンジンの回転を低速にし，後方や上方など周りの安全を確かめ，ゆっくりと主クラッチレバーを操作してください。

エンジンからの動力を断続します。
1．レバーを**[入]**位置にするとクラッチが入ります。
2．レバーを**[切]**位置にするとクラッチが切れます。

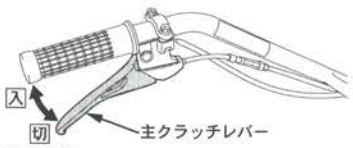
補 足

＊主クラッチレバーとフィンガーレバーは連動していますので，どちらでもクラッチ操作ができます。
＊主変速レバーを**[後進]**に入れた場合，主クラッチレバーから手を離すと主クラッチレバーが**[切]**位置に戻ります。（**[R仕様]**は除く）



1AFAEADAP017A

【K仕様】
エンジンから動力を断続します。
1．レバーを握るとクラッチが**[入]**ります。
2．レバーを離すとレバーが戻り，クラッチが**[切]**れます。



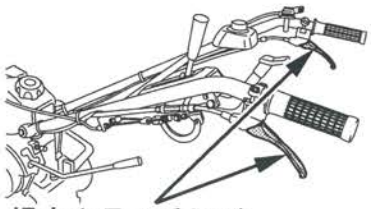
1370_001

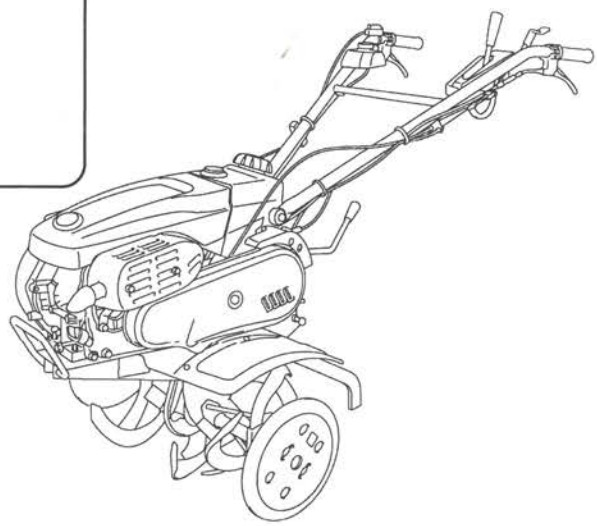
操向クラッチレバー

注 意

＊車両への積降ろし時や坂道では，絶対に操作しないでください。

【S仕様】
● 右側のレバーを握る・・・右側に旋回します。
● 左側のレバーを握る・・・左側に旋回します。


操向クラッチレバー
1AFAEADAP007A

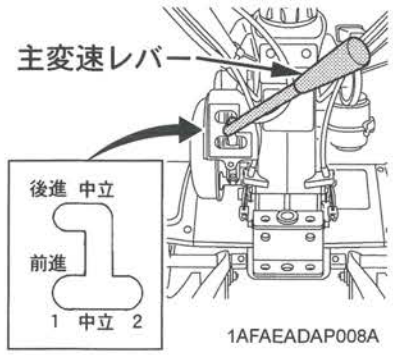


主変速レバー

注 意

＊エンジンを始動する前に，必ずレバーを[中立]にしてください。
＊変速操作は主クラッチを[切]ってから行なってください。
＊走行中は変速しないでください。

● 変速は前進２段，後進１段です。



1AFAEADAP008A

ロータリ変速レバー

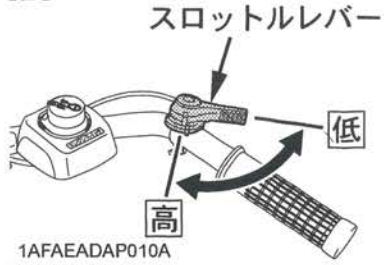
● ロータリ変速レバーが**[入]**位置に入っている時は，ケンセイ装置の作用により，主変速レバーは**[後進]**位置に入りません。
● 主変速レバーが**[後進]**位置に入っている時もロータリ変速レバーは**[入]**位置に入りません。



1AFAEADAP009A

スロットルレバー

エンジン回転の調節をします。
1．**[高]**の方向に回すと回転が上がります。
2．**[低]**の方向に回すと回転が下がります。



1AFAEADAP010A

エンジンスイッチ

エンジンの運転・停止に用います。

補 足

＊非常時にはエンジンスイッチを押してください。エンジンが停止します。

運転時



1AFAAAAAP184D [押す]

スイッチを押しながら（運転）位置に回すと始動が可能です。

停止時



[押す]

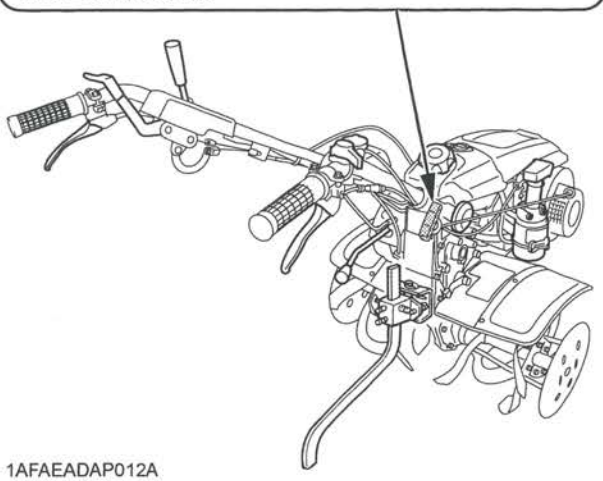
スイッチを押すと左に回り（停止）位置に戻り，エンジンが停止します。

リコイルスタータ（ミラクルスタート）

注 意

＊リコイルスタータを引っ張る方向に人がいないか，突起物障害物がないか確かめてから始動してください。傷害事故のおそれがあります。

エンジン始動時に使用します。主クラッチレバーを**[切]**にし，エンジンスイッチを**[運転]**にしてリコイルを引っ張ると始動します。

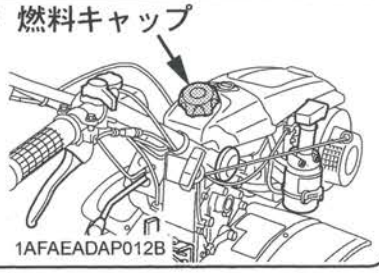

1AFAEADAP012A

燃料キャップ

自動車用レギュラーガソリンを使用します。
（規定容量 2.6Ｌ）

補 足

＊給油口の赤色ゲージ以上に燃料を入れないでください。



1AFAEADAP012B

ハンドル高さ調節ノブ

注 意

平坦な場所に機械を安定させて，エンジンを必ず停止して行なってください。傷害事故のおそれがあります。

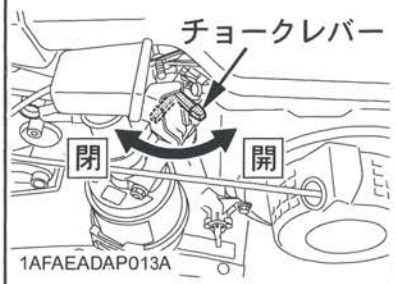
ハンドル高さ調整ノブを４～５回転ゆるめて，高さを調節してください。



1AFAEADAP012C

チョークレバー

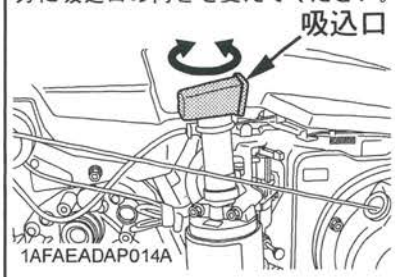
エンジンがかかりにくい時に使用します。
1．始動時，**[閉]**位置にレバーを切り換えます。
2．始動後，**[開]**位置にレバーを切り換えます。



1AFAEADAP013A

エアクリーナ

エアクリーナの吸込口が回動します。作業に応じ，チリやホコリの少ない方に吸込口の向きを変えてください。



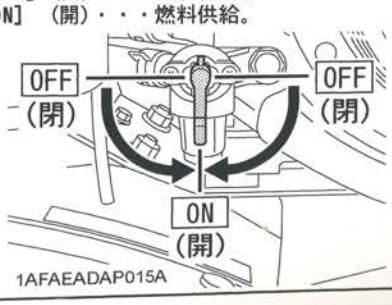
1AFAEADAP014A

燃料コック

重 要

＊コックを開いた状態で，前に倒したり車両で運搬すると，エンジン始動が困難になる場合があります。

燃料タンクからエンジンへ燃料の**[供給]**・**[停止]**をします。エンジン停止後，必ず燃料コックを閉めてください。
1．**[OFF]**（閉）・・・燃料停止。
2．**[ON]**（開）・・・燃料供給。



1AFAEADAP015A

作業前の点検

注　意

＊ 平坦な場所に機械を安定させて点検してください。
＊ 点検中はエンジンを停止してください。

調子よく作業するために

〔詳細は**【管理機の簡単な手入れと処置】**12 ページを参照〕

警　告

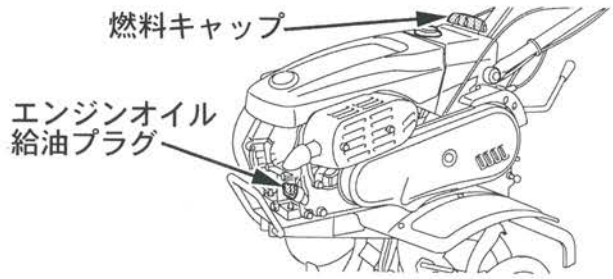
＊ 給油するときはエンジンを停止し，エンジンやマフラがじゅうぶん冷えてから行なってください。
＊ 火気厳禁。くわえ煙草での給油は絶対にしないでください。
＊ 燃料がこぼれたときはきれいにふき取ってください。
＊ 燃料は規定量（赤色ゲージ）以上入れないでください。
＊ 給油後，燃料キャップはガソリンがもれないようしっかり締めてください。
＊ 上記の作業をおこたると，爆発・火災のおそれがあります。

■燃料

自動車用レギュラーガソリンを補給します。
燃料キャップを外し，給油口内の赤色ゲージを超えないように補給してください。
タンク容量……約 2.6L

重　要

＊ 水やゴミを混入しないようにしてください。



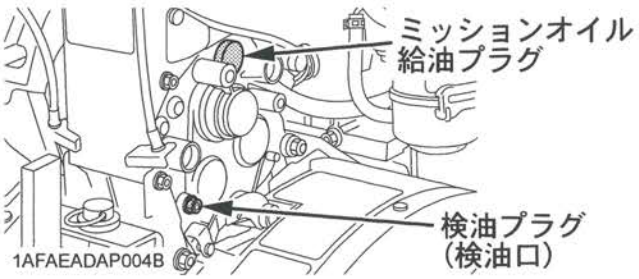
■エンジンオイル

エンジンを水平にして給油プラグを外し，オイル給油口内側のレベルゲージで上限まであるか点検します。
油面が下限に近い場合は，（純正油）　又は，ガソリンエンジン用オイル API・SD級以上，SAE・10W－30を補充します。



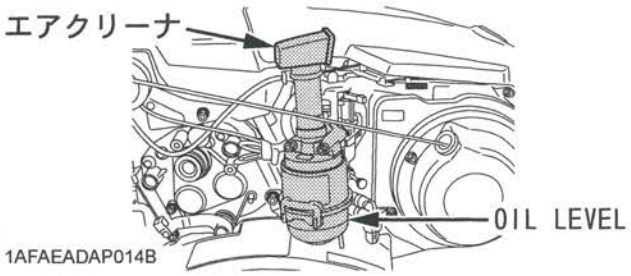
■ミッションオイル

エンジンを水平にして，検油プラグを外し，検油口までオイルがあるか点検します。
不足している場合は，(純正油) 又は，ギヤオイル API・GL－4級以上，SAE・80W，SAE・90を補充します。



■エアクリーナ

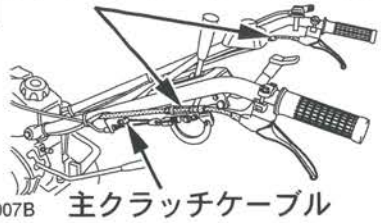
- オイルパンの規定線 (OIL LEVEL) まであるか点検してください。
- 不足している場合は，エンジンオイルを補充してください。
- オイルパンのオイルが汚れていないか点検してください。
- エアクリーナエレメントにゴミが付着していないか点検してください。

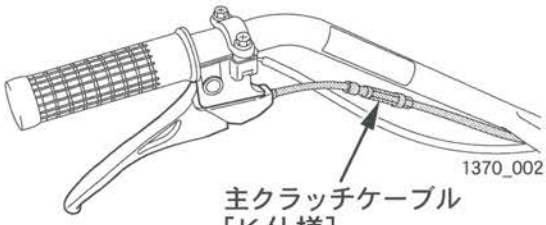


■各ケーブル

- ケーブル注油部より，エンジンオイルを注油してください。

操向クラッチレバーケーブル(左・右)
[S仕様]





主クラッチケーブル
[K仕様]

■その他

- エンジン，ミッションなどから油もれがないか点検してください。
- 各しゅう動部へエンジンオイルを注油してください。
- 各部の損傷及びボルト・ナットのゆるみがないか点検してください。

運転のしかた

新車時の扱いかた

■ならし運転（最初の 10 時間まで）

この期間中は各部になじみをつけるため，エンジンを高速回転させたり，過酷な使用はさけ無理をさせないようにしてください。

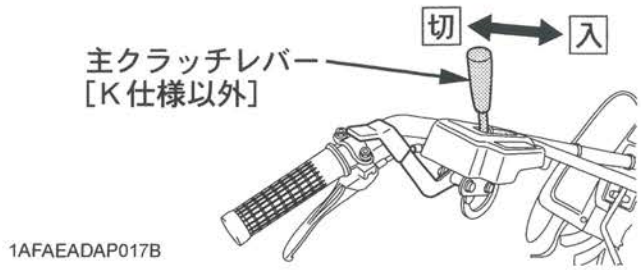
エンジンの始動と停止のしかた

■始動のしかた

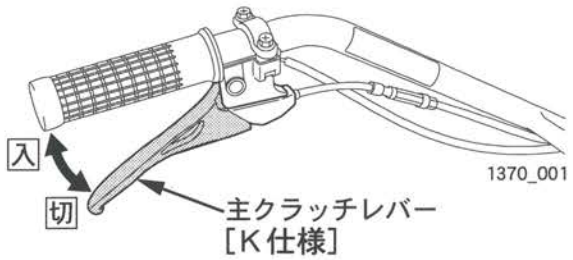
注　意

- **＊ マフラの排気出口方向に，燃えやすい物を置かないでください。火災が発生する原因となります。**
- **＊ リコイルスタータを引張る方向に人がいないか，突起物・障害物がないか確かめてから始動してください。傷害事故のおそれがあります。**
- **＊ エンジンの運転中は，危険ですから操作レバー以外の物（マフラなど）には，触れないでください。ヤケドや傷害のおそれがあります。**
- **＊ 夜間作業はしないでください。**
- **＊ エンジンを始動するときは，主クラッチレバーを必ず［切］にしてください。**
- **＊ 主変速レバーを［中立］にしてください。**

1. 主クラッチレバーを **［切］** の位置にします。



1AFAEADAP017B

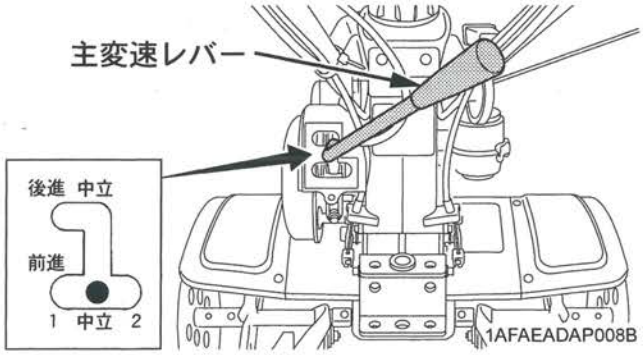


1370_001

補　足

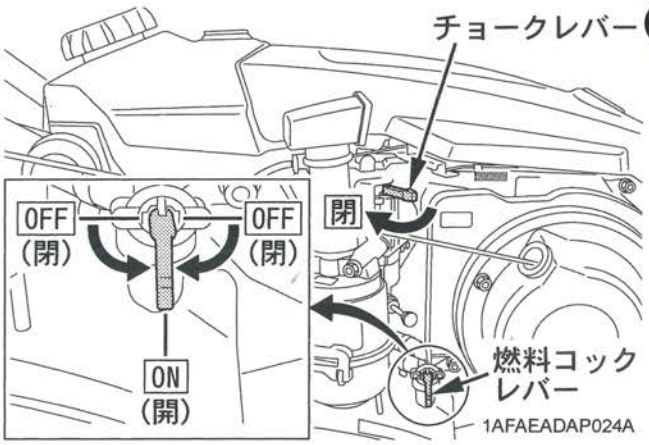
＊ 主クラッチレバーが **［入］** では始動ケンセイ装置が作動してエンジンは始動しません。

2. 主変速レバーを **［中立］** にします。



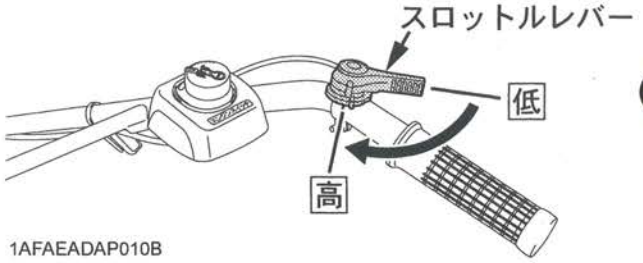
1AFAEADAP008B

3. 燃料コックを **［ON］（開）** にします。
4. チョークレバーを **［閉］** 位置に切り換えます。（但し，外気温 15℃以下の場合）



1AFAEADAP024A

5. スロットルレバーを **［高］** にします。



1AFAEADAP010B

6. エンジンスイッチを押しながら **［運転］** 位置まで回します。



1AFACAAAP059N

7. リコイルスタータ（ミラクルスタート）
ハンドルを握って，引張ります。
エンジンが始動したら，リコイルスタータハンドルを静かに元に戻します。
8. チョークレバーを**【閉】**位置でエンジンを始動した場合は，エンジンの運転状態を確認しながら，チョークレバーを徐々に**【開】**の位置に戻します。
9. ２～３分暖気運転をしてから，作業を始めます。

重　要

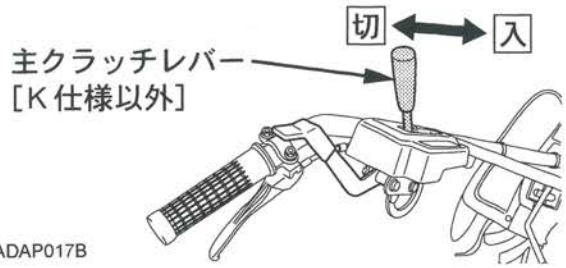
＊ 運転中はリコイルスタータを引かないでください。
＊ 通常のリコイルスタータよりゆっくり引いても始動できます。
＊ ロープを引き出せないところまで引ききると、故障の原因となることがあります。
＊ リコイルスタータ内部を分解しないでください。内部のスプリングが飛び出す恐れがあり危険です。

■停止のしかた

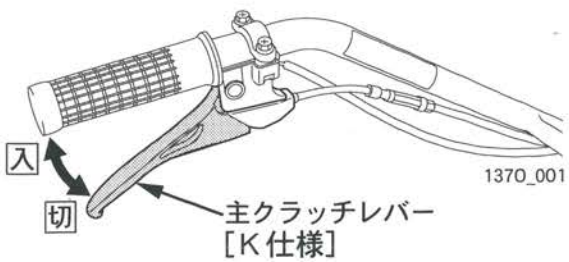
警　告

＊ 停止直後はしばらくマフラが熱くなっています。手を触れないでください。ヤケドのおそれがあります。

1. 主クラッチレバーを**【切】**にします。

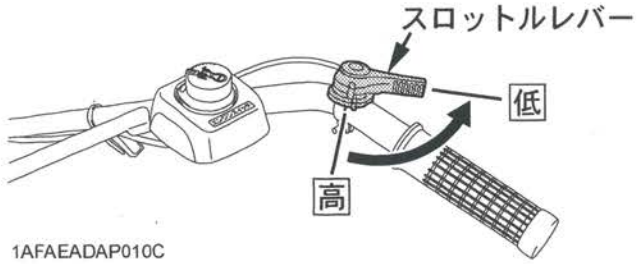


1AFAEADAP017B



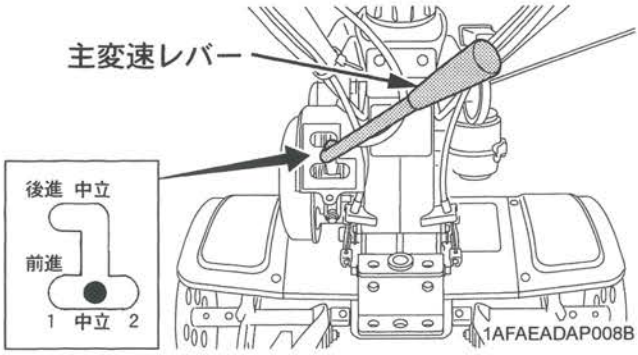
1370_001

2. スロットルレバーを**【低】**にします。



1AFAEADAP010C

3. 主変速レバーを**【中立】**にします。



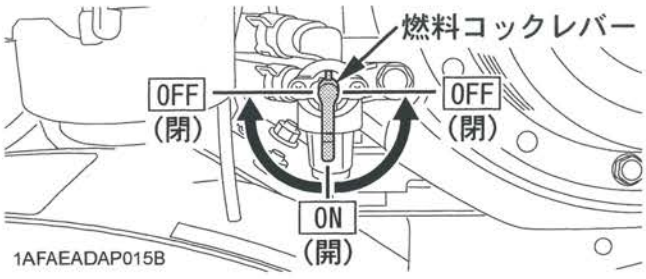
1AFAEADAP008B

4. エンジンスイッチを押すと左に回って**【停止】**位置に戻り，エンジンが停止します。



1AFACAAAP059O

5. 燃料コックを**【OFF】（閉）**にします。



1AFAEADAP015B

重　要

＊ コックを開いたままの状態で保管したり，車両で運搬したりすると，エンジン始動が困難となる場合があります。
また，クランクケース内へガソリンが流入することもあります。

発進のしかた

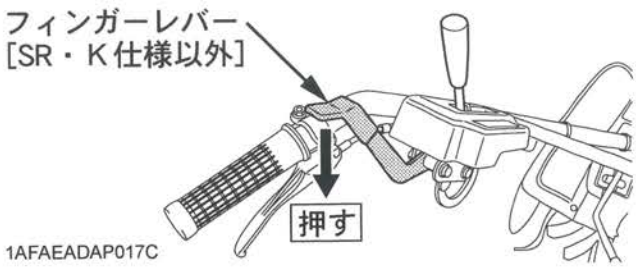
警　告

＊ 運転中は周囲に人を近づけないでください。傷害事故のおそれがあります。
＊ 傾斜地での運転や後進するときなどは，ハンドルが持上がり，体や首をはさまれるなどのおそれがありますので，主クラッチをゆっくり操作してください。
＊ 狭い場所での運転や後進の運転については，エンジンの回転を低速にし，後方や上方など周りの安全を確かめゆっくりと主クラッチ操作をしてください。

1. 主クラッチレバーが **[切]** の位置にあることを確認した後，主変速レバーを必要な変速位置にします。
2. 主クラッチレバーを **[入]** にして発進します。

補　足

＊ 主変速レバーが **[後進]** 位置では，ケンセイ装置がはたらき主クラッチレバー・フィンガーレバーは **[入]** 位置でロックできません。レバーから手を放すと **[切]** 位置に戻ります。
＊ フィンガーレバーを下に押すと，ハンドルを握ったまま主クラッチを入れることができます。

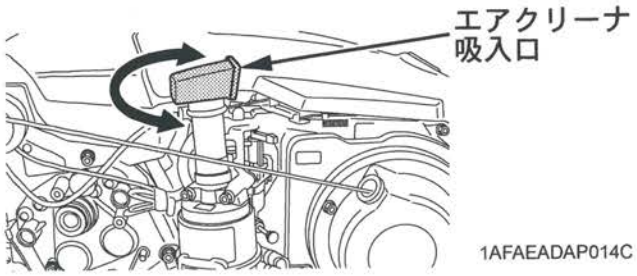


3. スロットルレバーを操作して速度を調整します。

各部の調節

■エアクリーナの調節

エアクリーナの吸込口が回動します。作業に応じ，チリやホコリの少ない方に吸込口の向きを変えてください。

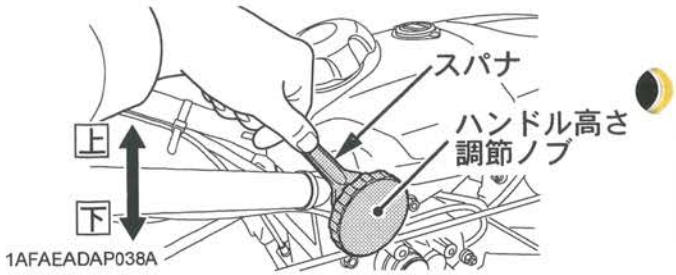


■ハンドル高さの調節

注　意

＊ 平坦な場所に機械を安定させて，エンジンを必ず停止して行なってください。傷害事故のおそれがあります。

ハンドル高さ調節ノブを４～５回転ゆるめて，高さを調節してください。ノブが固くて回せない場合は，スパナで緩めてください。
ハンドルがガタつく場合は，スパナで締付けてください。



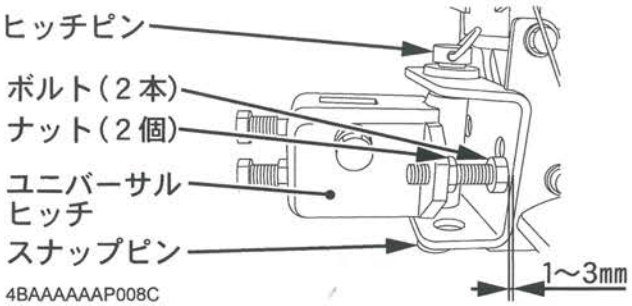
■ユニバーサルヒッチ及び抵抗棒の組付けかた

警　告

＊ 取付・取外しは，エンジンを停止し平たんな場所で行なってください。

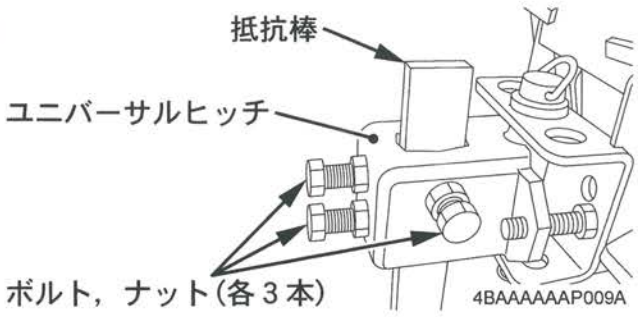
◆ ユニバーサルヒッチの組付

下図に示すように本機後方ヒッチにユニバーサルヒッチを組付け，ヒッチピンを差込みスナップピンで固定します。ボルトと本機ヒッチの隙間が左右とも１～ 3㎜ になるようボルトを調整します。ユニバーサルヒッチの左右の振りが同じか確認し，ナットを確実に組付けます。



◆ 抵抗棒の組付

ユニバーサルヒッチに抵抗棒を差し込み，ボルトを確実に締付け，ロックナットをします。（作業に応じて抵抗棒の高さを調整します。）



移動輪での運転のしかた

警　告

＊ エンジンが高速回転時，主クラッチレバーを急に［入］位置にすると機体が飛び出し危険です。

移動輪を取り付けて移動するときは，必ずスロットルレバーを**［低］**の位置にし，エンジン回転を下げてください。

操向クラッチレバー［S 仕様］

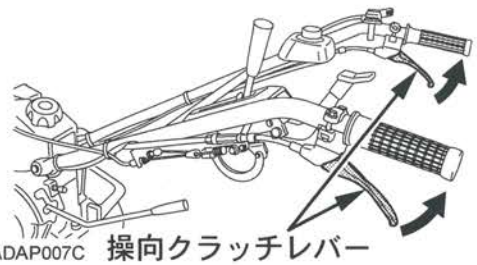
注　意

＊ 車両への積降ろし時や坂道では，絶対に操作しないでください。

- 左側レバーを握ると左側車軸が停止し，左側に旋回します。
- 右側レバーを握ると右側車軸が停止し，右側に旋回します。

■旋回のしかた

左側レバーを握ると左側車軸が停止しますので，ハンドルを持ち上げ抵抗棒等を地面から離すようにして左旋回してください。
（右旋回はその逆になります。）



補　足

＊ 作業中はできるだけ操向クラッチレバーを握らないようにしてください。ハンドル操作での作業をしてください。

＊ ロータ等の装着時
操向クラッチレバーを握ったとき，ロータ等の同時打ち込みが変わりますので，ハンドル等が左右にふれることがあります。そのときは同時打ち込みになるように操向クラッチレバーを握って合わせてください。

ロータ・移動輪の取付けかた

注　意

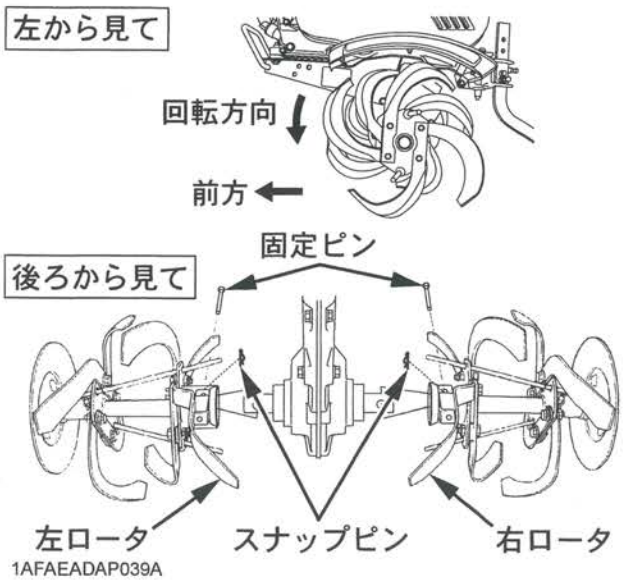
＊ 作業機の交換・調整をするときは，本機を平たんな広い場所に置き必ずエンジンを停止して作業してください。

重　要

＊ ロータを交換するときは，必ず燃料コックを **[OFF]（閉）** にしてください。

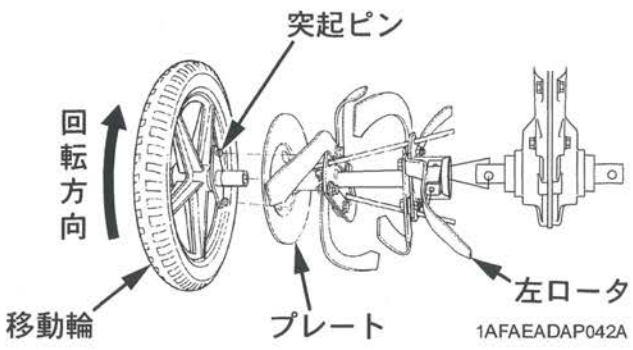
■ナタ爪ロータの取付けかた

◆ ナタ爪ロータは下図のように固定ピンを差込み，スナップピンで固定します。



■移動輪の取付けかた

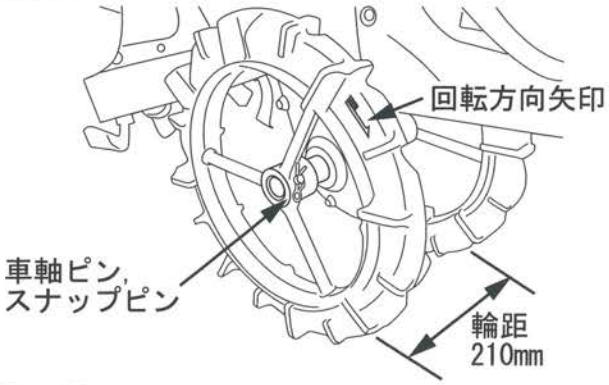
◆ 移動輪をプレートに取付けるときは，下図のように移動輪の差込軸及び２箇所の突起ピンをプレートの穴に確実に差込み，矢印の方向に回転させてください。（固定ピン及びスナップピンは不要です）



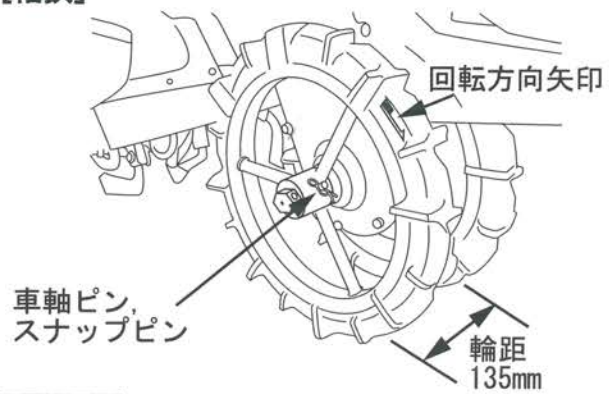
■車輪の取付けかた・車輪幅調節のしかた［R 仕様］

◆ 作業条件に応じて，車輪の取付けと車輪間隔調節は次のとおりに行います。
車輪と車軸は，車軸ピンで下図のように取付けていますのでピンを抜いて調節を行なってください。

[幅広]



[幅狭]



補　足

＊ タイヤ表面の矢印方向と車輪の回転方向が合うようにタイヤを取付けてください。
＊ 輪距の調節の際は，左右のタイヤを入れかえてください。

上手な作業のしかた

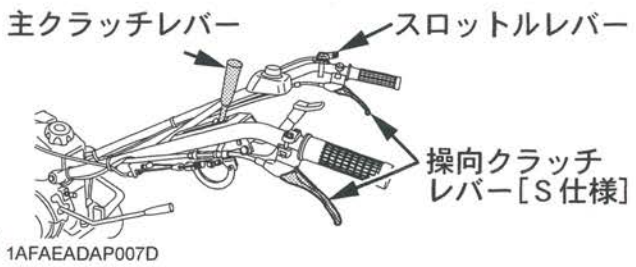
下記手順を守り，安全作業を心掛けてください。

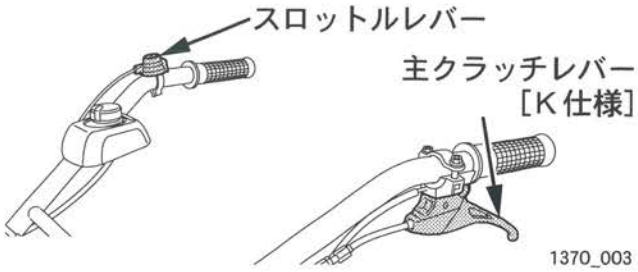
■耕うん作業手順［R 仕様］

1. 主クラッチレバーを**【切】**位置にします。
2. 主変速レバーを作業に応じた位置に入れます。
3. スロットルレバーでエンジン回転を調整します。
4. ロータリの変速レバーを**【入】**・主クラッチレバーを**【入】**にし，発進します。

■旋回手順［S 仕様］

1. スロットルレバーを**【低速】**にします。
2. ロータリの変速レバーを**【切】**にして，ロータリ回転を止めます。
3. ハンドルを持上げます。(操向クラッチレバー**【左右】**の曲がりたい方向を握り旋回します。)
4. 旋回後，操向クラッチレバーを離し，ハンドルを押下げ，ロータリの変速レバーを**【入】**にして作業を行ないます。
5. 上記**【耕うん手順】**の手順で作業を行ないます。





ロータリ取付け時の注意

■ロータリ後進ケンセイ装置の点検［R 仕様］

警　告

＊ 後進ケンセイ装置の解除は行なわないでください。

◆ 点検

1. 主変速レバーが**【後進】**位置のとき，ロータリ変速レバーが**【入】**位置に変速できないことを確認してください。
2. ロータリ変速レバーが**【入】**位置のとき，主変速レバーが**【後進】**位置に変速できないことを確認してください。
3. 主変速レバーが**【前進１又は２速】**位置のとき，ロータリ変速レバーが**【入】**位置に変速できることを確認してください。

重　要

＊ 上記１～３の点検で，不良の項目がある場合，下記調節要領に基づき調節し，再度上記ケンセイが確実に作動するか確認してください。

◆ 調節要領

〔詳細は**【ロータリ後進ケンセイ装置の点検・調節】**18 ページを参照〕

管理機の簡単な手入れと処置

廃棄物の処理について

警　告

廃棄物をみだりに捨てたり，焼却しないでください。環境汚染につながり，法令により処罰されることがあります。
廃棄物を処理するときは
＊ 機械から廃液を抜く場合は，容器に受けてください。
＊ 地面へのたれ流しや河川，湖沼，海洋への投棄はしないでください。
＊ 廃油，ゴム類，その他の有害物を廃棄，又は焼却するときは，購入先，又は産業廃棄物処理業者などに相談して，所定の規則に従って処理してください。

日常の手入れ

注　意

＊ 給排油・点検・調節・清掃は，エンジンを停止し，エンジンやマフラがじゅうぶん冷えてから行なってください。
＊ 平たんな場所に機械を安定させて行なってください。

■エンジンオイルの交換

◆ 給油のしかた
エンジンを水平にして，オイルゲージを用いて，規定量まで入れます。

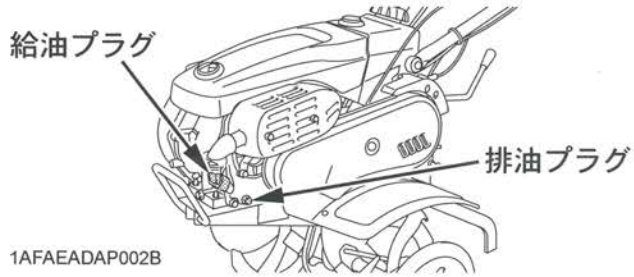


交換		オイル量	オイルの種類
第１回目	以後		
25 時間使用後	50 時間使用ごと	0.5 L	(純正油) または，ガソリンエンジン用オイルAPI･SD級以上，SAE･10W－30

◆ 排油のしかた
機体を水平に安定させ排油プラグを外し，排油します。

重　要

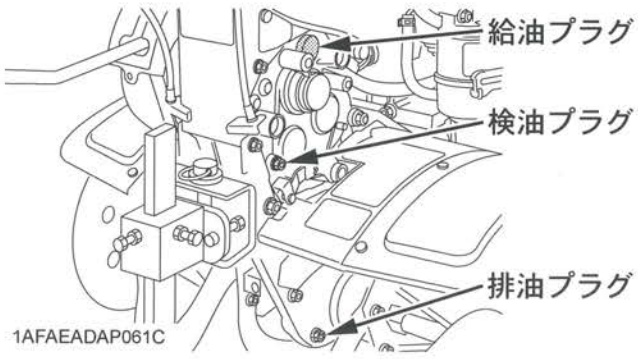
＊ 粗悪なオイルを使用しますと，エンジンの寿命を急激に縮めますので，購入先で(純正油)または，ガソリンエンジン用オイルAPI・SD級以上，SAE・10W－30とご指定の上，お求めください。
＊ 排油・検油・給油後はプラグを確実に締めてください。



■ミッションオイルの交換

◆ 給油のしかた
機体を水平にし，検油プラグまで給油します。

◆ 排油のしかた
ミッションオイル排油プラグを外して排油します。



交換		オイル量	オイルの種類
第１回目	以後		
25時間使用後	年１回	1.3 L	(純正油) またはギヤオイルAPI・GL-4級以上SAE80W

重　要

＊ 粗悪なオイルを使用しますと，機械の寿命を急激に縮めますので，購入先で(純正油)またはギヤオイルAPI・GL-4級以上SAE80Wとご指定の上，お求めください。
＊ 排油・検油・給油後はプラグを確実に締めてください。

■エアクリーナエレメントの清掃とオイル交換

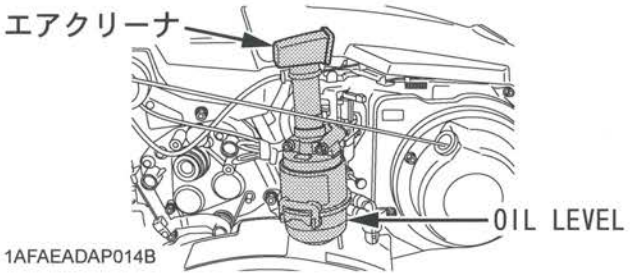
1. エレメントは時々白灯油で洗い，エンジンオイルを塗布して，よく振切ってから取付けてください。
2. オイルパンはよく洗浄し，新しいエンジンオイルを規定量入れてください。
   - 規定量……**OIL LEVEL** と記載されているところ

重　要

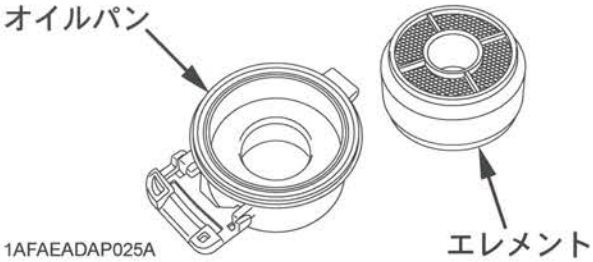
＊ エアクリーナを取外したままエンジンを運転しないでください。ゴミやホコリを吸込み，エンジン不調やエンジン異常摩耗の原因となります。
＊ 汚れたまま使用しますと，エンジンの出力低下や故障の原因になります。

エレメント（オイル）	清掃	通常	50時間ごと
		ホコリの多い場合	毎日
	交換	汚れがひどいとき	

＊ チリやホコリが多く発生する土入れ作業などで使用する場合は，
  (1) ホコリの少ない方向にエアクリーナ吸込口を向けてください。
  (2) 毎日点検してください。
＊ 規定量よりエンジンオイルを入れ過ぎると，エンジン不調の原因となります。



1AFAEADAP014B



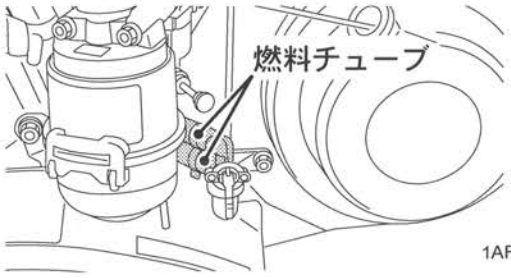
1AFAEADAP025A

■燃料チューブの交換

警　告

＊ 燃料チューブは自然劣化したり傷があると，ガソリンもれして火災の原因となります。作業前に毎回点検し，ヒビや割れが発生したものは，新しい燃料チューブと交換してください。

交　換	2年間ごと



1AFAEADAP014D

管理機の簡単な手入れと処置

■燃料フィルタの清掃

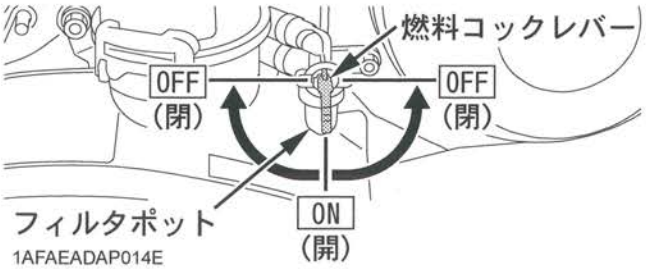
注　意

＊ 取付け後，ガソリンもれがないか確認してください。

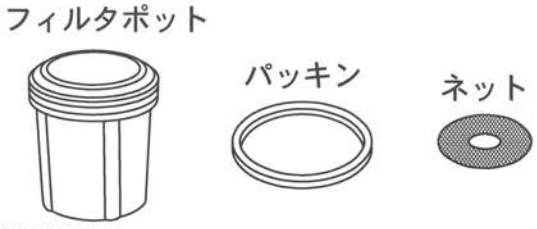
1. 燃料フィルタは，燃料のゴミを取除きます。取除かれたゴミは，ポットの底にたまります。
2. 燃料コックレバーを **【OFF】** にし，フィルタポットを外し，ポットの底にたまっているゴミや水を捨てます。
3. 燃料タンク内を点検し，底に異物がたまっている場合は，取除いてください。

100 時間使用ごと	フィルタの清掃
300 時間使用ごと	タンクの清掃

4. フィルタポットを再装着するときは，確実に締め付け，燃料もれがないか必ず確認してください。



1AFAEADAP014E



1AFAEADAP023A

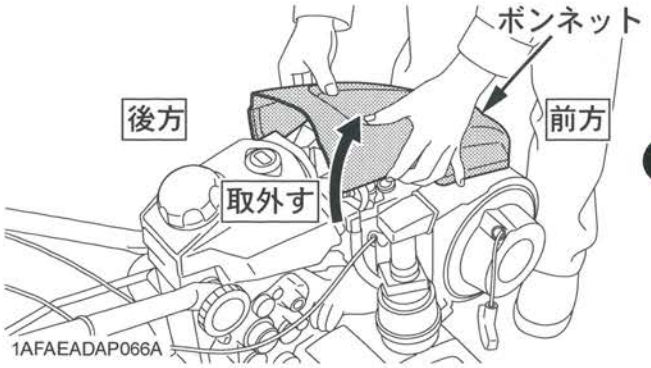
■点火プラグの調節・清掃・交換

注　意

＊ 高温部が冷えてから行なってください。

◆ ボンネットの取外しかた

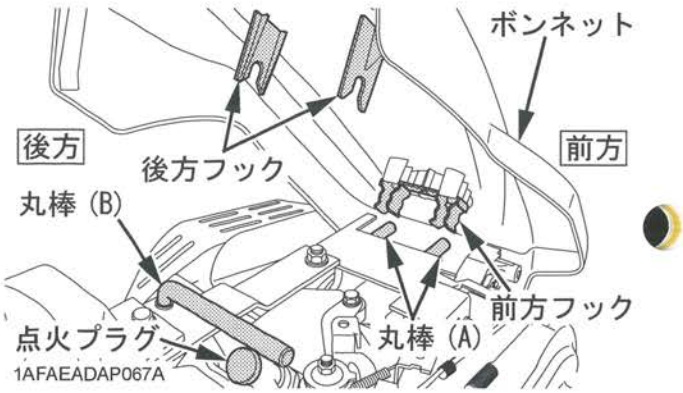
ボンネットの後方に手を掛け，必ず後方から取外してください。



1AFAEADAP066A

◆ ボンネットの取付けかた

ボンネットの取付けは，前方フックを丸棒(A)に取付けてから，後方フックを丸棒（B）に取付けてください。

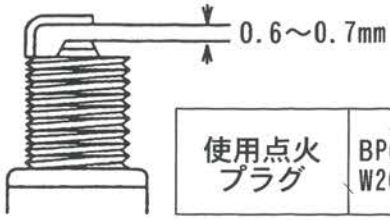


1AFAEADAP067A

重　要

＊ 部品の破損のおそれがありますので，ボンネットの取付け，取外しは上記の方法で必ず行なってください。

3. 電極のすき間が 0.6 ～ 0.7mm になるように調節します。
4. 点検調節は６ヶ月に１回行なってください。



使用点火プラグ	BP6HS(NGK) W20FP(デンソー)

1AFACAAAP051E

重　要

＊ プラグ締付け時は，ネジ山をつぶさないように，はじめ手で締込んでから，ボックススパナで締付けてください。
＊ 調節・清掃してもエンジンが不調なときは，新しいプラグと交換してください。
＊ プラグを外したまま始動操作しないでください。

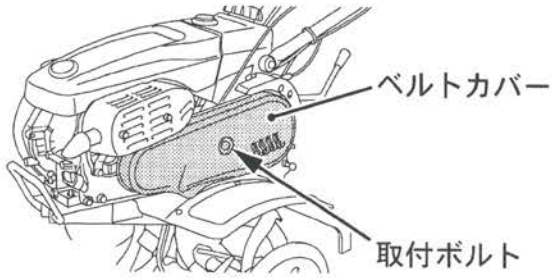
■主クラッチケーブルの調節

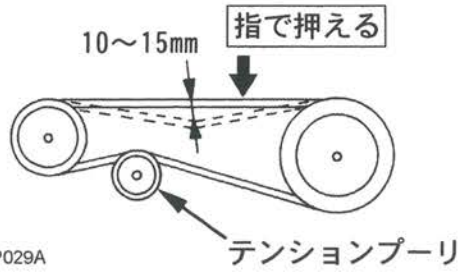
警　告

＊ ベルト調節を行なう場合は，必ずエンジンを停止して行なってください。
＊ 調節が終わったら必ずベルトカバーを取付けてください。巻込まれるなど傷害事故を引起こすおそれがあります。
＊ エンジンを始動する前に，主変速レバーを中立にしてください。
＊ 調節・確認時は周囲に人や動物を近づけないでください。傷害事故を引起こすおそれがあります。

◆ 主クラッチケーブルによる調節

1. ベルトカバーの取付ボルトをゆるめて，ベルトカバーを取外します。
2. 主クラッチレバーを入れた状態で，ベルトの中央部を指で押えて10～15mmたわむ程度に，ケーブル調節金具でテンションプーリを調節します。

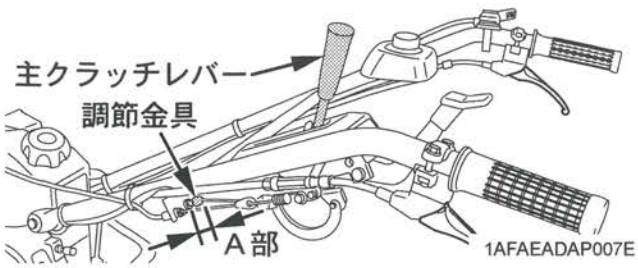




1AFAEADAP029A

[K 仕様以外]

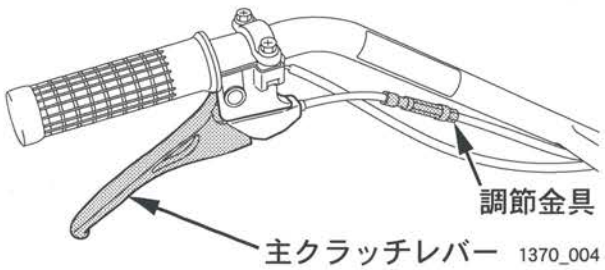
ベルトがスリップする場合	調節金具のＡ部を短かくする
クラッチが切れないとき	調節金具のＡ部を長くする



1AFAEADAP007E

[K 仕様]

ベルトがスリップする場合	調節金具を長くする
クラッチが切れないとき	調節金具を短かくする

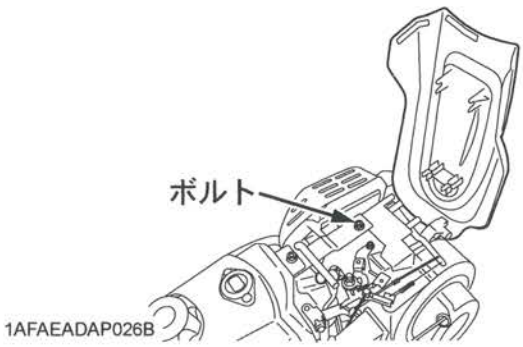


1370_004

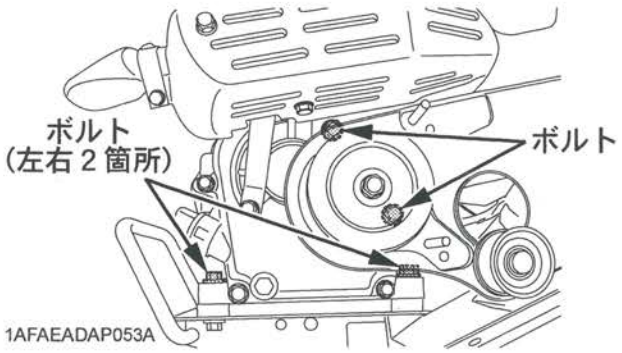
◆ エンジン前後によるベルトの調節

ベルトが伸びたり，又は新しいベルトに取替えたとき，主クラッチケーブルで主クラッチの調節ができない場合は，エンジンを前後に移動して調節します。

1. ベルトカバーの取付ボルトをゆるめて，ベルトカバーを取外します。
2. エンジンを固定しているボルトをゆるめて調節します。調節後は確実にボルトを締付けてください。



1AFAEADAP026B



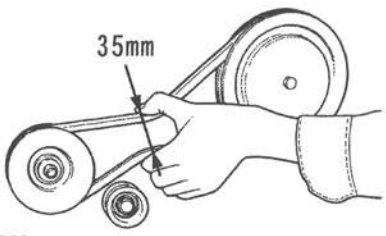
1AFAEADAP053A

重　要

＊ 使用初期はベルトが伸びやすいため，10 時間使用後ケーブルを再調節してください。
＊ 主クラッチケーブルを調節した場合，エンジンを始動してクラッチの **[入]・[切]** が確実に作動するか確認してください。

◆ 新しいベルトに交換する場合

新しいベルトに交換する場合は，ベルト中央部を指ではさんですき間が約 35㎜ にたわむくらいにして，エンジンを固定しているボルトを締付けてください。



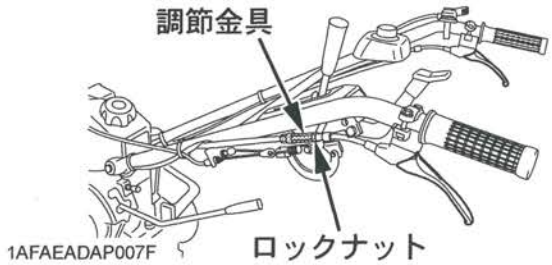
1AFAEADAP030A

■操向クラッチケーブルの調節［S 仕様］

操向クラッチレバーを握っても操向クラッチが切れにくい場合，また操向クラッチレバーを放しても入りにくい場合は，調節金具のロックナットをゆるめて調節します。

切れにくい場合	調節金具を長くする
戻りにくい場合	調節金具を短かくする

調節後はロックナットを確実に締付けてください。



1AFAEADAP007F

使用後の手入れ

使用後は，必ずその日に清掃を行ない，各部に付いている土やゴミを落とし，各しゅう動部は錆びないように油やグリス及び防錆剤を適宜塗布します。特にファンカバー内にゴミが詰まりますと，エンジンの焼付きなどの原因になりますので，よく点検・清掃を行なってください。

重　要

＊ 水洗いのとき，エアクリーナ吸込口から水が入らないようにカバーをしてください。

■エンジン始動不良を防ぐために

エンジン停止後，必ず燃料コックを閉めてください。

重　要

＊ コックを開いたままの状態で，保管したり，前に倒したり，また車両で運搬したりすると，エンジン始動が困難となる場合があります。また，クランクケース内へガソリンが流入することもあります。

■長期格納時の手入れ

警　告

＊ カバーをかけたり，納屋に格納するときは，エンジンが冷えてからにしてください。火災のおそれがあります。
＊ 燃料がこぼれたときは，きれいにふき取ってください。爆発・火災のおそれがあります。

1. 燃料タンク・キャブレタ・フィルタポットの中のガソリンは全て抜取ります。（1ヶ月以上使用しないとき）
2. オイルを交換し，各部をきれいに掃除します。
3. エアクリーナエレメントを，掃除します。
4. エンジンのシリンダ内に湿気が入って，始動が困難になるのを防止するため，リコイルスタータハンドルを引張って，圧縮位置で止めます。
5. カバーをかけ，湿気や草・ワラ及びホコリのない場所に置きます。

重　要

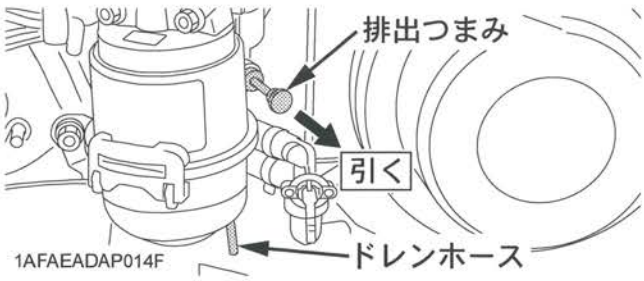
＊ ほ場に保管していると，地面からの湿気が多いのでさびやすくなります。

■燃料の抜取り

警　告

＊ 燃料を抜取るときはエンジンを停止し，エンジンやマフラがじゅうぶん冷えてから行なってください。
＊ 火気厳禁。くわえ煙草での給油は絶対にしないでください。
＊ 燃料がこぼれたときはきれいにふき取ってください。

1ヶ月以上使用しないとき，燃料タンク内のガソリンはポンプなどを使用して抜取り，キャブレタ内は排出つまみを引いてドレンホースから抜取り，フィルタポットを外しフィルタ内の燃料を全部抜取ります。



重　要

＊ 燃料をそのままにしておくと，燃料タンクやキャブレタ内のガソリンが劣化して，次の始動が困難になります。

洗車時の注意

高圧洗車機の使用方法を誤まると人を怪我させたり，機械を破損・損傷・故障させることがありますので，高圧洗車機の取扱説明書・ラベルに従って，正しく使用してください。

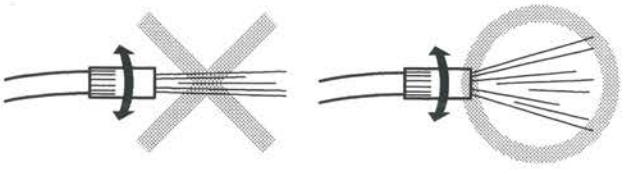
注　意

洗浄ノズルを拡散にし，２ｍ以上離して洗車してください。
もし，直射にしたり，不適切に近距離から洗車すると，
1. 電気配線部被覆の損傷・断線により，火災のおそれがあります。

重　要

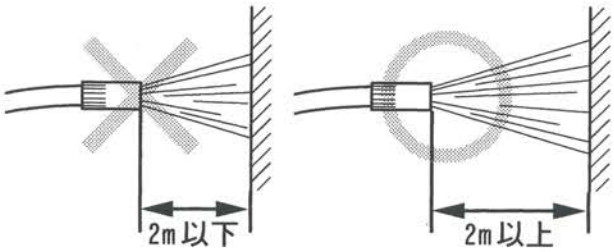
＊ 洗車のしかたが不適切な場合，以下のような機械の破損・損傷・故障の原因になります。
［例］(1) シール・ラベルの剥がれ
(2) 電子部品，エンジン・トランスミッション室内などへの浸入による故障
(3) オイルシールなどのゴム類，樹脂類の破損
(4) 塗装，メッキ面の皮膜剥がれ

直射洗車厳禁



1AGACBRAP067A

近距離洗車厳禁



1AGACBRAP068A

ロータリ後進ケンセイ装置の点検・調節［R仕様］

警　告

＊ 後進ケンセイ装置の解除は行なわないこと。

注　意

＊ 調節後は，調節金具のロックナットを確実に締付けてください。
＊ 調節が終ったら，主変速レバーを［中立］，ロータリ変速レバーを［切］に戻してください。

■点検

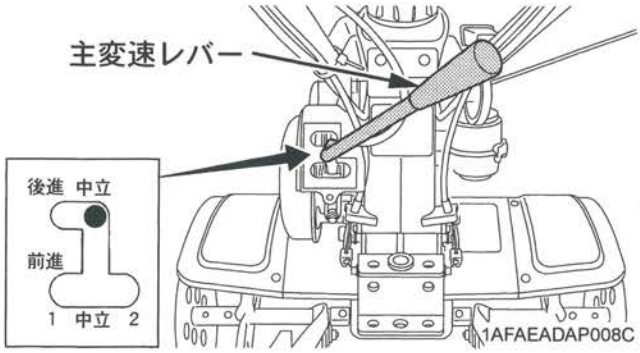
1. 主変速レバーが**［後進］**位置のとき，ロータリ変速レバーが**［入］**に変速できないことを確認してください。
2. ロータリ変速レバーが**［入］**位置のとき，主変速レバーが**［後進］**に変速できないことを確認してください。
3. 主変速レバーが**［前進１又は２速］**位置のとき，ロータリ変速レバーが**［入］**に変速できることを確認してください。

重　要

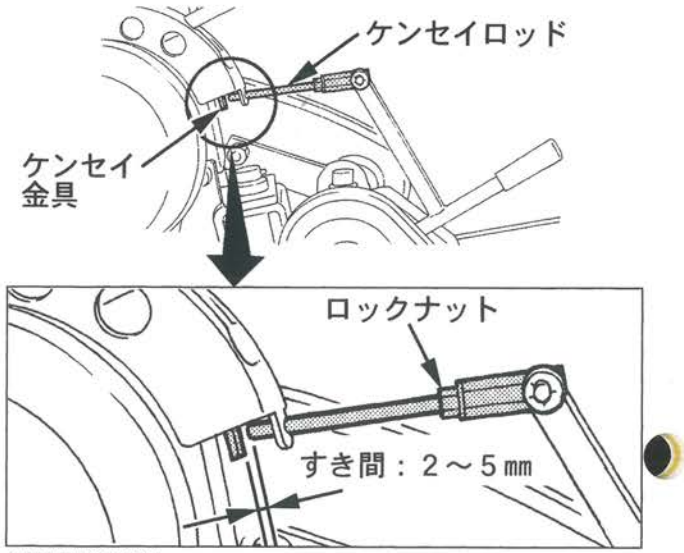
＊ 上記１～３の点検で，不良の項目がある場合，下記調節要領に基づき調節し，再度上記ケンセイが確実に作動するか確認してください。

■調節要領

主変速レバーを後進側の**［中立］**位置にして，ケンセイロッドとケンセイ金具のすき間が２～５㎜になるように，ケンセイロッドの長さを調節します。



1AFAEADAP008C



1AFAEADAP027A

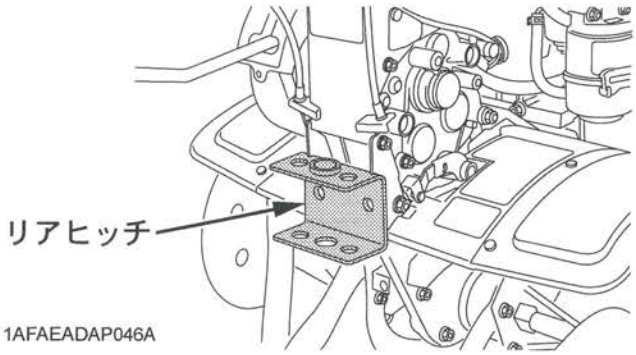
管理機を運搬するとき

自動車(トラック)への積込み,運搬

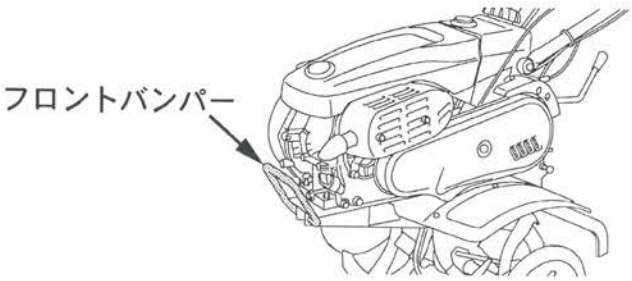
注　意

＊ 積込み・積降ろしは，平坦で交通の邪魔にならない安全な場所で行なってください。
＊ アユミ板はすべり止めの付いた，機体重量に耐えるもので，トラックの荷台の高さ［1］に対しアユミ板の長さ［4以上］のものを使用し，確実に固定してください。
＊ 足元に注意し，車速は最低速で上りは［前進］，下りは［後進］で行なってください。
＊ 途中で主クラッチや操向クラッチを切ったり，変速操作を絶対にしないでください。落下・転倒のおそれがあります。
＊ トラックは，荷台に天井がない車を使用してください。首や体をはさまれるおそれがあります。
＊ トラックでの運搬時は，タンク内のガソリンの量を，積込み・積降ろしに必要な最低量とし，残りのガソリンは，別に用意しておいた法で定められたタンクに移して運搬してください。火災のおそれがあります。
＊ ロータを装着して，アユミ板の上り，下りは危険です。絶対にしないでください。

1. トラックを平たんな場所に止め，駐車ブレーキを掛けます。
2. アユミ板を荷台に確実に固定します。
3. ロータを装着しているときは，移動輪，または突起の小さい車輪と交換して行なってください。
4. 上り，下りは最低速で走行します。
   主変速レバーは，低速に入れ，また主クラッチレバーも**［入］**にしておきます。
5. 機体は荷台にロープで確実に固定します。
6. 機体にロープを掛けるときは，フロントバンパー・リアヒッチを使ってロープ掛けを行ない，確実に床に固定してください。
7. 燃料コックは**［OFF］(閉)**にします。
8. 雨天時には，エアクリーナの吸込口にカバーをかぶせてください。

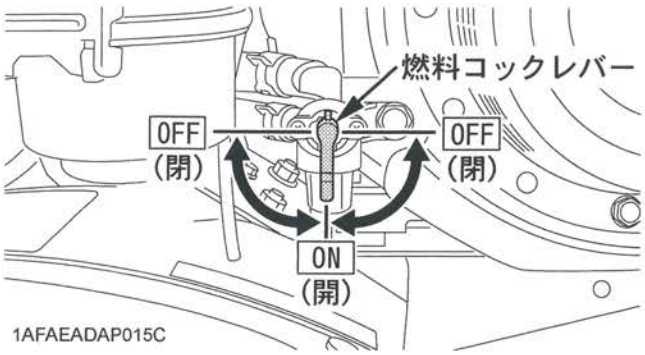


1AFAEADAP046A



重　要

＊ ロープを掛けるとき，変速レバーや樹脂カバー，小物部品にロープが触れないように気をつけてください。
破損したり機能が損なわれるおそれがあります。
＊ ハンドルへのロープ掛けはしないでください。ハンドルが変形するおそれがあります。
＊ エアクリーナの吸込口にカバーをかぶせないで運搬すると，雨水や砂ホコリが入り，エアクリーナ性能が低下します。
＊ 燃料コックレバーを**［開］**いたまま運搬すると，キャブレタ内でガソリンがオーバフローし，エンジン始動が困難となります。また，クランクケース内にガソリンが流入することもあります。



1AFAEADAP015C

付表

主要諸元

販売型式名			MM408A	MM408AS	MM408AJ	MM408ASJ	MM408ASR
機体寸法	全長	(mm)	1385		1385		1450
	全幅	(mm)	595		595		610
	全高	(mm)	1000		1000		1030
質量(ロータ、車輪なし)		(kg)	42	44	42	44	46 (車輪付)
エンジン	型式名		GB131				
	種類		空冷4サイクルガソリンエンジン (OHV)				
	総排気量	(cm^3)	126				
	定格出力/定格回転数	kW / min^{-1} (PS / rpm)	2. 3/1650 (3. 1/1650)				
	最大出力	(kW(PS))	3. 0 (4. 2)				
	使用燃料		自動車用レギュラーガソリン (無鉛)				
	燃料タンク容量	(L)	2.6				
	始動方式		リコイルスタータ (ミラクルスタート)				
主クラッチ方式			ベルトテンション				
操向クラッチ方式			-	ボール式	-	ボール式	
変速段数	主変速	前進	2段				
		後進	1段				
車輪			-				ゴムラグ車輪
車軸形状		(径mm)	六角 (対辺23)				
PTO軸回転数		(min^{-1}(rpm))	-				760

車軸回転数一覧表

変速		車軸回転数 min^{-1}(rpm)				
		MM408A	MM408AS	MM408AJ	MM408ASJ	MM408ASR
前進	1	71		61		26
	2	106		119		40
後進	1	26		23		9

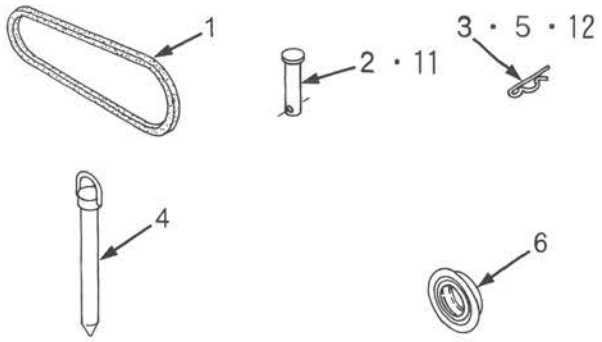
● MM408SR (ロータリ仕様) は車軸でのロータ作業はできません。

標準付属部品

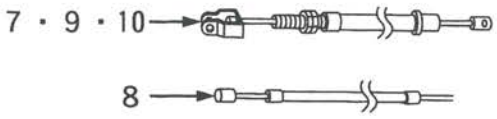
品名	数量/台	備考
プラグボックス	1	
ホイルチューブ	2	AJ・ASJ仕様のみ
クレビスピン	2	AJ・ASJ仕様のみ
スナップピン	2	AJ・ASJ仕様のみ
取扱説明書	1	
保証書	1	

主な消耗部品一覧表

● 本機関係



1AFAEADAP043A



1AFAEADAP044A

図番	品番	品名	個数	適用機種					
				-	-S	-SR	-J	-SJ	-K
1	LK161-62211	Vベルト（SB-37）	1	○	○	○	○	○	○
2	61041-1717-0	車軸ピン	4	○	○	○	○	○	○
3	05516-50800	スナップピン	4	○	○	○	○	○	○
4	61232-5213-0	ヒッチピン	1	○	○	○	○	○	○
5	05515-51600	スナップピン	1	○	○	○	○	○	○
6	61191-1715-0	オイルシール	2	○	○	○	○	○	○
7	LK161-42290	ケーブル（主クラッチ）	1	○	○		○	○	
7	LK181-4224-0	ケーブル（主クラッチ）	1			○			
7	LK191-42241	ケーブル（主クラッチ）	1						○
8	LK161-42920	ケーブル（スロットル）	1	○	○		○	○	○
8	LK181-42920	ケーブル（スロットル）	1			○			
9	LK122-4322-0	ケーブル（サイドクラッチ）	2		○			○	
10	LK132-4322-0	ケーブル（サイドクラッチ）	2			○			
11	0562 1108 060	クレビスピン	2				○	○	
12	0522 0108 000	スナップピン	2				○	○	

トラブルと処置

■ エンジンが始動しないとき

原　因	処　置
● 始動の手順が間違っている。	正しい順序で始動する。(6 ページの**運転のしかた**の項を参照)
● タンクにガソリンを入れたまま 1 ヵ月以上保管しガソリンが劣化した。	タンク・キャブレタ内の劣化したガソリンを排出し，新しいガソリンを入れる。
● フィルタポットに水やゴミが混入している。	ポットを外してフィルタエレメントを清掃する。また新しい物と交換する。 キャブレタ内のガソリンも排出する。
● チョークを引いた（閉じた）状態でリコイルを何回も引過ぎガソリンを吸い過ぎた。	チョークを戻し（開き）リコイルを引くか，点火プラグを外して乾燥させる。
● エンジン停止後，燃料コックを閉じないで本機を前に倒したり，車両で運搬したためキャブレタがオーバフローした。	クランクケース内にガソリンが混入していたら，新しいエンジンオイルと交換する。
● エアクリーナエレメントが目詰まりしている。	エレメントを外して清掃する。 又は新しい物と交換する。
● 点火プラグの火花が弱い，飛ばない。	点火プラグを外して付着したカーボンを清掃する。又は，新しい物と交換する。

■ エンジン回転が上がらない，不安定，出力が不足するとき

原　因	処　置
● エンジンが暖まってもチョークを引いた（閉じた）まま運転している。	チョークを戻す（開く）。
● フィルタポットに水やゴミが混入している。	ポットを外して清掃する。 キャブレタ内のガソリンも排出する。
● エアクリーナエレメントが汚れている。	エレメントを外して清掃する。
● スロットルケーブルの引張りが不足している。	ケーブルのセット位置を調節する。

■ エンジンが振れる，異音が発生する

原　因	処　置
● エンジン取付けボルトがゆるんでいる。	取付けボルトを締付ける。

上記の処置をしてもトラブルが直らないときは，購入先にご相談ください。

潤滑油について

● オイルは三菱農業機械純正オイルをお奨めします。

■エンジンオイル

メーカ		商品名
三菱農業機械純正油		スーパーマルチSTOU(ストー)オイル (SAE10W-30、SD/CD/GL-4)
全農	ガソリン用	JA-OIL SL 10W-30
JX日鉱日石エネルギー	ガソリン用	FINEモーターオイル 10W-30

■ギヤオイル

メーカ名	商品名
三菱農業機械純正油	スーパーマルチＳＴＯＵオイル (SAE10W-30、SD/CD/GL-4)
	スーパーマルチＧＢオイル (SAE80W、GL-4)
全農	トラクターギヤ80 GL-3 または トラクターギヤ スーパーマルチ GL-4 75W-80
JX日鉱日石エネルギー	ファームギヤＢ (SAE80W、GL-4) ファームユニバーサル (SAE10W-30、SD/CD/GL-4)

・またはＡＰＩサービス分類ＳＥ級以上10W-30をご使用ください。

・スーパーマルチＳＴＯＵオイルまたはＳＡＥ10W-30は気温20℃以上でご使用の場合は，オイルの消費量が増すことがありますので，**「運転前の点検」**を行なってください。

お客様へ

ご使用の機械についてわからないことや故障が生じたときは，下記の点を明確にして，お買いあげ先へお問合わせください。

●ご使用機の商品名と機械番号(製造番号)は…？

商 品 名(区　　分)

機械番号(製造番号)

●ご使用状況は…？

(何速で，どんな作業のとき)

●どのくらい使用されましたか？

(約 _____ アール使用後)

●トラブルが発生したときの状況を，できるだけ詳しくお教えください。



(ご相談窓口) お買いあげ先

TEL　　(　　)